

(2) 産学官交流事業

財団では、国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学（以下、「奈良先端大」と記します。）で生まれた革新的な科学技術等を産業界で積極的に活用していただくために、奈良先端大の研究成果や技術シーズの実用化に向けた取り組みを支援する「奈良先端大発 新産業創出支援事業」を平成16年度に立ち上げ、令和4年度も引き続き実施しました。

また、奈良先端大で生まれた先端的な研究成果、技術シーズ等を産業界に向けて発信する場、および奈良先端大と産業界との交流を図る場として「奈良先端大産学連携フォーラム」を実施しました。

奈良先端大発 新産業創出支援事業

地元の中小企業・ベンチャー企業等が、奈良先端大と連携して、奈良先端大で生まれた研究成果や技術シーズの実用化に向けた研究開発に取り組む場合に、その費用の一部を支援するものです。

支援期間は原則として1年間（年度単位）、支援額は1件当たり最大100万円／年です。なお支援の継続を希望される場合は、再応募となり、連続2回、最大2年間までです。

バイオサイエンス領域

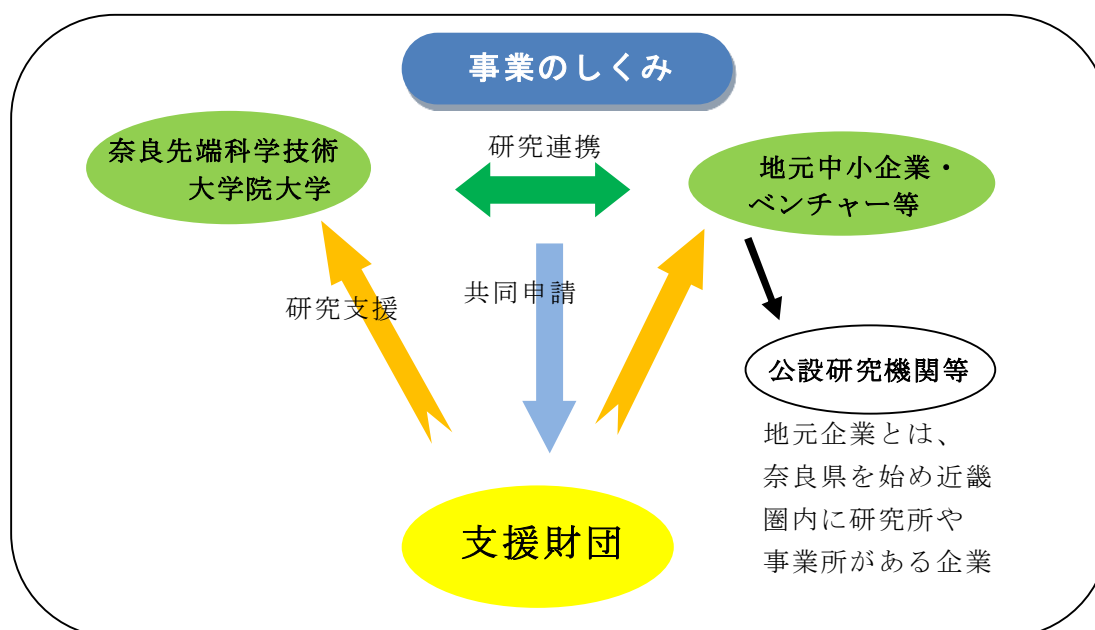
教授 高木 博史

令和4年度は下記の2件のテーマを支援しました。

【令和4年度支援テーマ】

	研究開発テーマ	奈良先端大研究者	連携企業
新規	奈良オリジナル酵母を用いたクラフトビールの高付加価値化とブランド化	バイオサイエンス領域 教授 高木博史	ゴールドデンラビット ビール
継続	プログラミング初心者が抱える質問に応じた解答事例の自動推薦システムの研究	情報科学領域 准教授 石尾 隆	(株) dTosh

令和5年度分も令和4年度末に支援テーマを募集し、2件を採択しました。



新産業創出支援研究成果報告会

奈良先端大発新産業創出支援事業で支援した研究開発の成果報告会を年1回開催しています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しましたが、令和3年度の報告は、令和4年3月25日に開催しました。

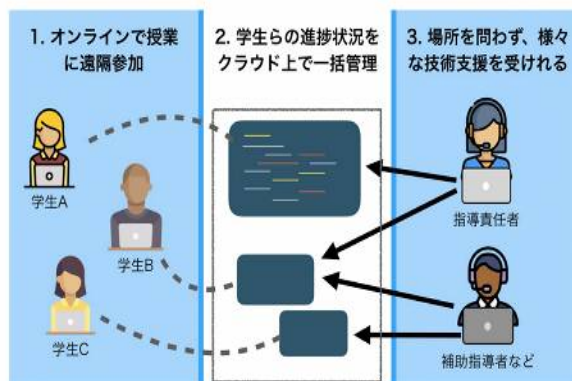
【新産業創出支援研究成果報告（令和3年度）】

○「プログラミング初心者が陥りやすいエラー傾向に着目したAI学習サポートシステムの開発」

情報科学領域 准教授 石尾 隆
(株) dTosh

○「機能性アミノ酸を高生産する酵母の育種とビール醸造への応用」

バイオサイエンス領域 教授 高木 博史
ゴールデンラビットビール



奈良先端大産学連携フォーラム

奈良先端大で生まれた先端的な研究や独創的な研究の成果を紹介するとともに、奈良先端大の研究者と産業界の研究者・技術者の交流の場を提供することを目的として、奈良先端大、(公社)関西経済連合会、当財団の共催でフォーラムを開催しています。

令和4年度については、7月29日(金)に新型コロナウイルス感染対策として、ハイブリッド開催としました。当日はオンサイト24名、オンライン68名の参加がありました。

講演：

「未来社会への提案～データ駆動型サイエンスによるアプローチ」

講師：データ駆動型サイエンスセンター
センター長 船津 公人

場所：グランキューブ大阪

